

敦賀気比 優勝

MAINICHI
新毎日新聞

4月1日(水)

2015年(平成27年)

発行所：大阪市北区梅田3丁目4番5号
〒530-8251 電話(06)6345-1551
毎日新聞大阪本社

号外

2015
第87回
センバツ高校野球

主催 毎日新聞社 日本高校野球連盟
後援 朝日新聞社 特別協力 阪神甲子園球場

決勝

第87回選抜高校野球大会(毎日新聞社、日本高校野球連盟主催、朝日新聞社後援、阪神甲子園球場特別協力)は最終日の1日、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で1万7000人の観衆を集めて決勝を行った。6回目のセンバツで初めて決勝に進んだチーム同士の対戦は、2年ぶりに出場した敦賀気比(福井)が3-1で東海大四(北海道)を破り、初優勝を果たした。

北陸勢が甲子園大会を制するのは、春夏通じて初めて。福井勢のこれまでの最高成績は、1978年春に準優勝した福井商だった。

北陸勢 春夏で初

14年ぶりに出場した東海大四は及ばなかった。北海道勢としても2004、05年の夏を連覇した駒大苫小牧以来となる甲子園大会優勝はならなかった。

松本が決勝弾

東海大四は4試合目の先発となる右腕・大沢、敦賀気比は準決勝まで4試合連続完投の右腕・平沼が先発。

東海大四は一回、先頭の富田が二塁内野安打で出塁。金村の送りバントが捕手の悪送球を誘うなどして1死二、三塁となり、小川の右犠飛で先制した。

敦賀気比は一回、先頭の篠原が中前打で出塁。中井の投前犠打と死球などで2死一、二塁とし、山本の今大会初安打となる右前適時打で追いついた。

敦賀気比は四回、先頭の山本が遊撃手と左翼手の間に落ちる幸運

東海大四―敦賀気比 八回裏敦賀気比1死二塁、松本が左越え2点本塁打を放つ(捕手・小川) 〓阪神甲子園球場で1日、須賀川理撮影



な二塁打で出塁した。松本の投前犠打が野選となり、さらに上田の投ゴロも野選。無死満塁としたが、後続を断られた。

東海大四は五回、富田が中前打で出塁し、犠打で二塁まで進んだが、得点できなかった。

東海大四は七回、先頭の渡瀬、富田の連打と犠打で1死二、三塁としたが、決定打が出なかった。

敦賀気比は七回、先頭の木下が四球で出塁。代走の栗栖が二盗を決めるなどして三塁まで進んだが、適時打が出なかった。東海大四は八回、邵が中堅右への二塁打で出塁。塩田のバントが敵失を誘い、無死二、三塁としたが、スクイズ失敗などもあり、無得点に終わった。

敦賀気比は八回、平沼の四球と犠打で1死二塁とし、松本が2試合連続アーチとなる勝ち越しの2点本塁打を放った。

平沼が最後まで投げ抜き、敦賀気比が逃げ切った。

先発メンバー	
東海大四	敦賀気比
⑥ 富田	⑤ 篠原
④ 金山	④ 中林
⑨ 山小	⑥ 平山
② 邵	① 松上
③ 塩大	⑧ 嘉木
⑦ 立渡	⑨ 嘉木
① 立渡	③ 嘉木
⑤ 立渡	② 嘉木
⑧ 立渡	⑦ 嘉木